【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【公開番号】特開2021-129877(P2021-129877A)
【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)
【年通号数】公開・登録公報2021-042
【出願番号】特願2020-27678(P2020-27678)
【国際特許分類】
*Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６５３
Ａ６３Ｆ　5/04　６２０

【手続補正書】
【提出日】令和3年10月26日(2021.10.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の開始条件の成立に基づいて当籤役を決定可能な役決定手段と、
前記役決定手段により決定された当籤役に応じて特典の付与に関する判定を実行可能な判定手段と、
特別状態及び非特別状態を制御可能な状態制御手段と、を備え、
前記判定手段は、
前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が第１役である場合には、第１条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、且つ、前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第１役と異なる第２役である場合には、前記第１条件よりも遊技者に有利な第２条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、
前記特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第１役である場合には、前記第２条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、
前記特別状態は、少なくとも、第１特別状態及び第２特別状態を含み、
前記第１特別状態と前記非特別状態との間で、前記判定手段による前記特典の付与に関する判定の条件が異なる当籤役である第１特別状態対応役と、
前記第２特別状態と前記非特別状態との間で、前記判定手段による前記特典の付与に関する判定の条件が異なる当籤役である第２特別状態対応役と、が設けられ、
前記第１特別状態対応役に含まれる当籤役と、前記第２特別状態対応役に含まれる当籤役との間では、少なくとも一部の当籤役が異なり、
前記状態制御手段は、前記第１特別状態に制御される条件、及び、前記第２特別状態に制御される条件の両方を満たした場合には、第３特別状態に制御可能であり、
前記判定手段は、前記第３特別状態では、前記第１特別状態対応役及び前記第２特別状態対応役に対して前記非特別状態より有利な条件で、前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、
前記第１特別状態において、前記第１特別状態対応役が当籤役として決定されたことを示唆する演出を実行可能であり、
前記第２特別状態において、前記第２特別状態対応役が当籤役として決定されたことを

示唆する演出を実行可能である
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
また、従来、ノーマルモード又はスペシャルモードの上乗せ抽選テーブルを用いてＡＴの上乗せ抽選を行う遊技機が知られている（例えば、特許文献１参照）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【特許文献１】特開２０１２－１３９２６２号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上述のように、従来、複数種の上乗せ抽選テーブルを使用してＡＴの上乗せを可能にする遊技機が知られている。しかしながら、上記特許文献１では、複数種の上乗せ抽選テーブルを用いても、内部当選役と上乗せ判定との関係性は各モードにおいて固定されており、上乗せ等の特典付与のバリエーションが限定的であった。また、バリエーションを増やすために抽選テーブルの数を増やすと、抽選テーブルのデータを格納するため膨大な記憶領域が必要となるという問題があった。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、本発明の目的は、特典付与に係るデータ量の軽減を図りつつ、特典付与のバリエーションを増やすことが可能な遊技機を提供することである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
所定の開始条件の成立に基づいて当籤役を決定可能な役決定手段（例えば、後述の内部抽籤処理）と、
前記役決定手段により決定された当籤役に応じて特典の付与に関する判定を実行可能な判定手段（例えば、後述の各種出玉抽籤）と、
特別状態（例えば、後述のランプ点灯状態）及び非特別状態（例えば、後述のランプ非点灯状態）を制御可能な状態制御手段（例えば、後述の主制御基板７１）と、を備え、

前記判定手段は、
前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が第１役（例えば、後述の「弱チェリー」に係る役）である場合には、第１条件（例えば、後述の「弱チェリー」に対する抽籤値）で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、且つ、前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第１役と異なる第２役（例えば、後述の「強チェリー」に係る役）である場合には、前記第１条件よりも遊技者に有利な第２条件（例えば、後述の「強チェリー」に対する抽籤値）で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、
前記特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第１役である場合には、前記第２条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、
前記特別状態は、少なくとも、第１特別状態（例えば、後述のＡランプ点灯状態）及び第２特別状態（例えば、後述のＥランプ点灯状態）を含み、
前記第１特別状態と前記非特別状態との間で、前記判定手段による前記特典の付与に関する判定の条件が異なる当籤役である第１特別状態対応役（例えば、後述の「ベル」、「はずれ」、「弱チェリー」、「強チェリー」に対応する役）と、
前記第２特別状態と前記非特別状態との間で、前記判定手段による前記特典の付与に関する判定の条件が異なる当籤役である第２特別状態対応役（例えば、後述の「レア役以外」、「弱レア役」、「強レア役」に対応する役）と、が設けられ、
前記第１特別状態対応役に含まれる当籤役と、前記第２特別状態対応役に含まれる当籤役との間では、少なくとも一部の当籤役が異なり、
前記状態制御手段は、前記第１特別状態に制御される条件、及び、前記第２特別状態に制御される条件の両方を満たした場合には、第３特別状態（例えば、後述のＡ＆Ｅランプ重複点灯状態）に制御可能であり、
前記判定手段は、前記第３特別状態では、前記第１特別状態対応役及び前記第２特別状態対応役に対して前記非特別状態より有利な条件で、前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、
前記第１特別状態において、前記第１特別状態対応役が当籤役として決定されたことを示唆する演出（例えば、後述のチャンス演出）を実行可能であり、
前記第２特別状態において、前記第２特別状態対応役が当籤役として決定されたことを示唆する演出（例えば、後述のチャンス演出）を実行可能である
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
上記構成の遊技機によれば、特典付与に係るデータ量の軽減を図りつつ、特典付与のバリエーションを増やすことができる。